

地域づくりの方向 1

あらゆる主体が参画しながら まちづくりを実現していくまち

地域づくりの方向の概要

- 地域に関わる政策や計画等の情報を公開し、計画づくりや施策等への区民の参画と協働を進めていきます。
- 区民活動を促進するため、地域の拠点を充実していくとともに、区民の参画と連携を推進することで、地域コミュニティを活性化していきます。
- 区民、町会・自治会、NPO法人、地域活動団体、事業者、大学、区の役割分担を明確にし、協力体制を構築していくことで、それぞれの特性と能力が十分発揮できるよう支援していきます。

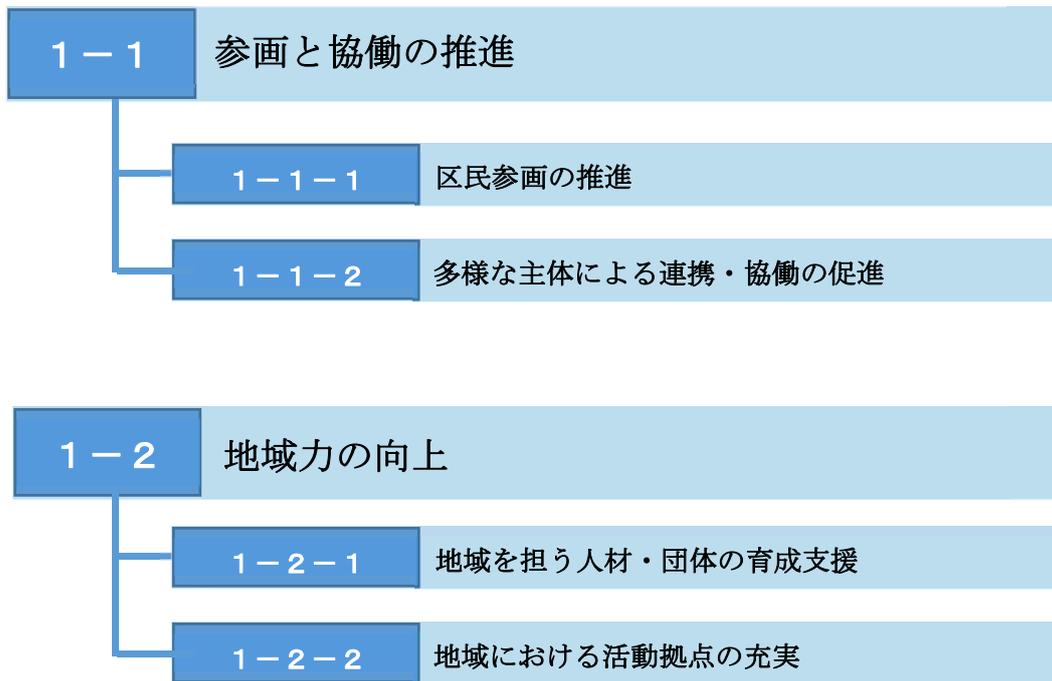
【政策】

1-1 参画と協働の推進

1-2 地域力の向上

①

あらゆる主体が参画しながら まちづくりを実現していくまち



政策 1-1

参画と協働の推進

政策の概要

- 区民をはじめとする多様な主体が区政に参画していくことで地域の諸課題を解決していきます。
- 地域に関する施策や事業、計画の情報を区民に公開し、計画づくりや施策、事業等への参画を推進します。
- 区民、町会・自治会、NPO法人、地域活動団体、事業者、大学をはじめとする地域の多様な主体が地域に関わる情報や課題を共有して協議し、連携・協働できる場や機会を充実していきます。
- 地域の拠点等での活動を広げながら、身近な地域課題に取り組んでいく体制を整備していきます。

政策と施策の構成



政策1-1 参画と協働の推進

施策1-1-1 区民参画の推進

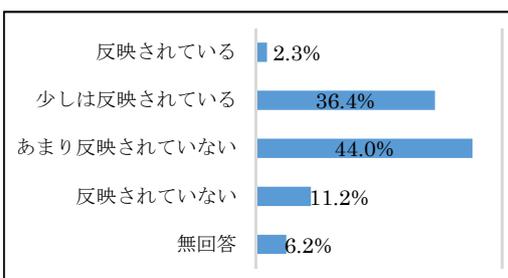
【施策の目標】

- 地域課題の解決に向け、企画・実施、評価等の各段階への区民の参画を推進します。
- 参画と協働によるまちづくりの基盤となる町会・自治会などの地縁団体への参加意識を高め、地域コミュニティの活性化を図ります。
- 地域区民ひろばの自主運営を推進し、区民活動の活発化による相互交流・連携の促進を図ります。

【現状と課題】

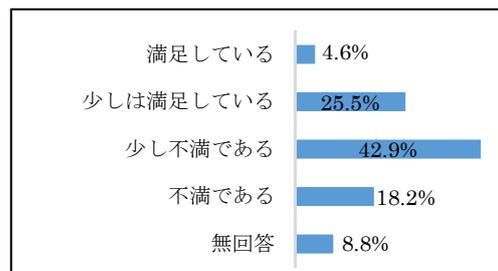
- 区民意識調査（平成26年10月実施）によると、区政への参加に関心があると回答した方は約7割と高いものの、区政への区民の意見の反映度は「反映されていない」と回答した方が約6割、区に意見を述べる機会や手段等の満足度も「不満である」が約6割となっています。
- 区政連絡会は、区政への理解や協力を求める役割を果たしていますが、身近な地域の課題をさらに協議する機能が必要になっています。
- 地域協議会については、常設ではなく、課題や関係団体等の状況に応じて設置していくしくみを検討する必要があります。
- 地域区民ひろばは全小学校区に設置が完了しました。20地区で運営協議会が設置され、そのうち6地区がNPO法人化しており、住民が主体となって地域の特性を活かした事業の企画や運営の充実が求められています。

◆区政への区民の意見の反映度



出典；区民意識調査報告書

◆区に意見を述べる機会や手段等の満足度



出典；区民意識調査報告書

政策 1-1 参画と協働の推進

施策 1-1-2 多様な主体による連携・協働の促進

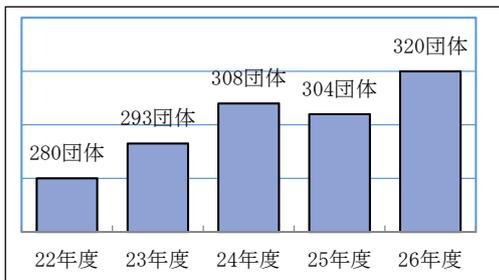
【施策の目標】

- 地域活動団体の公益的な活動を促進し、地域の課題を解決するため区との協働や団体同士の相互連携を促進します。
- 地域の人的資源の特色・特徴を踏まえ、相互連携を促進することにより、その持つ力をまちづくりに生かしていきます。

【現状と課題】

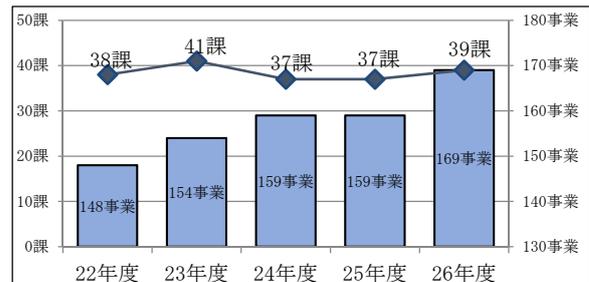
- 平成 18 年 4 月に 23 区初の N P O 法人連携組織「としま N P O 推進協議会」が発足しました。同年 N P O 等の活動拠点として区民活動センターをオープンし、N P O の設立や会計に関するセミナー、社会貢献活動見本市等に取り組み、N P O の推進を支援してきた結果、区内で活動する N P O 法人は 320 団体となっています。地域課題の解決を図るためには、各部署で N P O の特色を生かした連携・協働を進めることが課題となっています。
- 区内には立教、学習院をはじめ様々な大学があり、N P O や町会との連携・協働を促進して、それぞれの特性を地域づくりに生かすことも課題となっています。
- 地域区民ひろばは、各地区の運営協議会等の相互連携を促進することで、より活発な地域づくりを進めることが課題となっています。

◆ N P O 法人数の推移



出典；区民活動推進課調査資料

◆ 協働事業数の推移



出典；区民活動推進課調査資料

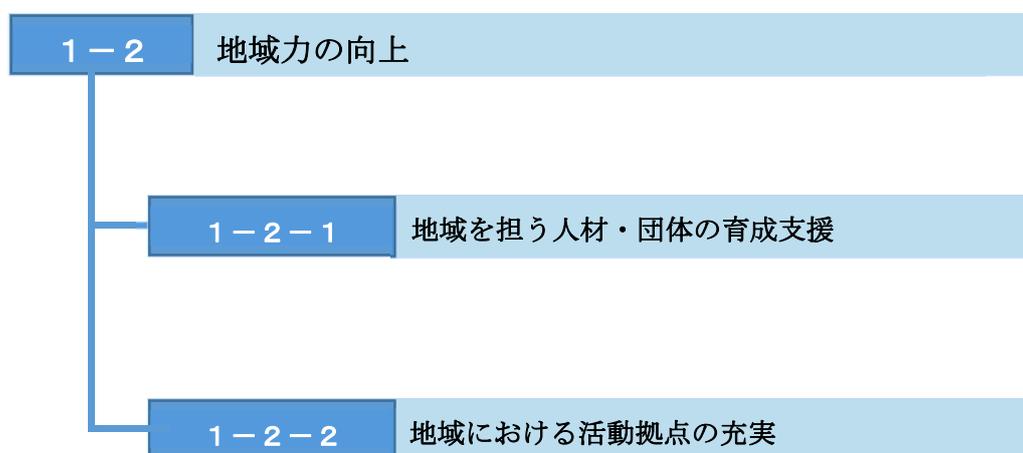
政策 1 - 2

地域力の向上

政策の概要

- 区民が地域社会での支え合いにより安全・安心でいつまでも住み続けられるように、地域活動を担う人材・団体の育成を支援し、活動の拠点を充実することで課題解決力の持続的な向上を図ります。

政策と施策の構成



政策 1 - 2 地域力の向上

施策 1-2-1 地域を担う人材・団体の育成支援

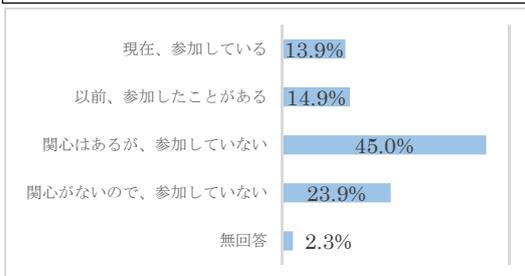
【施策の目標】

- 地域住民の主体的な活動を支援するとともに、地域活動団体の充実・強化を図り、地域活動の担い手の育成を推進します。
- これまで地域活動に携わったことがない人や若い世代の人々の地域参加を促し、地域コミュニティにおける交流、地域活動の活性化を促進していきます。

【現状と課題】

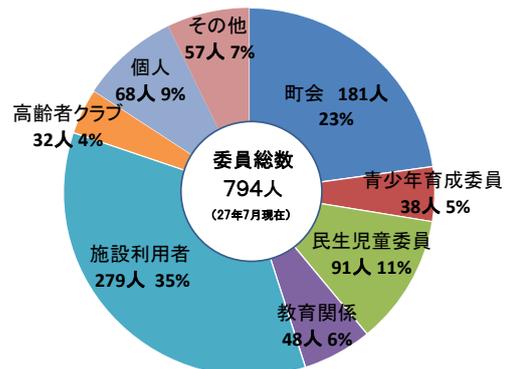
- 区民意識調査（平成 26 年 10 月実施）で、「地域活動への参加に関心があるものの参加していない」と回答した方は 4.5 割でした。その理由は、半数の方が「仕事や家事が忙しく時間がない」、約 3 割の方が「きっかけがつかめない」と回答しています。意欲ある区民が参加しやすい地域活動のあり方を提案していく必要があります。
- 長い自治活動の歴史を有する町会・自治会は、地域文化の伝承、地域コミュニティの醸成、行政とのパイプ役まで幅広く担っています。また、地域社会の変化、価値観の多様化などが進むなかで、活動目的を明確にした N P O や住民主体による地域区民ひろば運営協議会なども生まれています。しかし、これらの団体では、役員の高齢化や担い手不足という共通の課題があります。活動を維持・発展していくためには参加の機会や場を増やして新たな人材の参加を促し、地域やコミュニティ間の交流を促進していく必要があります。

◆地域活動への参加の有無



出典；基本計画策定のための区民意識調査

◆運営協議会委員構成



政策1-2 地域力の向上

施策1-2-2 地域における活動拠点の充実

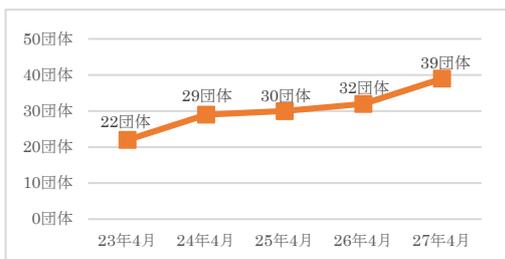
【施策の目標】

- NPOと町会・自治会や地域の様々な団体との交流・連携の拠点を整備し、地域団体活動の支援を充実します。
- 地域区民ひろばや区民活動センターを区民に最も身近な地域活動拠点と位置づけ、その機能の充実により、地域力の向上を図ります。

【現状と課題】

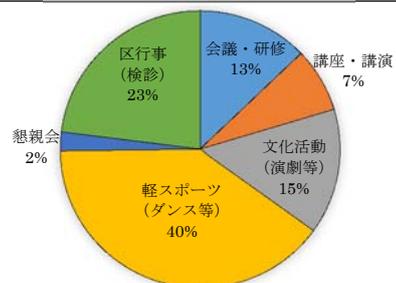
- NPOの活動拠点として東部地域に設置している区民活動センター（平成29年4月に勤労福祉会館に移転予定）では、NPO法人の設立や団体運営に関する相談業務、活動に関する情報提供、会議室や事務機器の貸出等を行っています。今後、区内全域で地域活動の充実を支援していくため、一層の拡大が求められます。
- 区民集会室は、地域の集会の場を提供することを目的として設置されていますが、利用実態としては文化活動等が多く、区民のニーズを踏まえた機能の拡充が課題となっています。
- 地域区民ひろばは、乳幼児から高齢者までの世代を超えた交流の場として気軽に利用できる施設として浸透しつつあります。またセーフコミュニティやコミュニティソーシャルワーカーの活動の拠点としても今後の展開が期待されています。今後は、より運営機能を充実させるため、世代間交流を図りづらくしている施設の構造が課題となっています。

◆区民活動センター登録団体数の推移



出典；区民活動推進課調査

◆主な区民集会室の利用目的



出典；上池袋コミュニティセンター
多目的ホール調査（平成27年4～6月分）